

令和6年度 嘉穂小学校 学校評価報告書

**【学校の教育目標】**  
 確かな学力を身につけ、美しい心を持ち、  
 活力ある子どもの育成

**【本年度の重点目標】**  
 ○「進んで学び・考える子ども」を育てる。  
 ○「自他を大切に作る健やかな子ども」を育てる。

4 : 大変よい    3 : よい    2 : 努力を要する    1 : すぐに改善

領域	項目	評価指標・自己評価	教師	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
確かな学力を身につけた子どもの育成	自ら学ぶ子ども	<b>【自分の考えを適切に表現する】</b> 自分の考えを適切に発表することができる  <b>〈結果〉「自分の考えを進んで発表している」: 2.9</b> ・主題研修を通して、国語科における「問いづくり」「思考づくり」「価値づくり」を位置付けた授業改善を進め教員の意識と指導力を高めている。 ⇒12月に実施された学力検査では、国語科が昨年度に比べ、0.6Pアップしていた。	3.0	○どの学年も落ち着いて授業に取り組む姿が見られました。毎時間の授業の中で、個人の考えを持たせ、整理して交流する機会を多く設けたり、内容を深めるための発問を工夫したり、良く取り組まれていると思います。 ○アンケートでは、1学期より0.1下がっていますが、学校長より話があったように、自己評価の基準が意識的に上がって、もっと出来ない・・・と成長しているのではと児童の目標値が上がっていると感じました。学力はアップしていることが、それを表しているのでは。 ○先生方の指導は行き届いていると思いますが、性格的に発言したり、表現することが苦手だったり、出来なかったりする児童もいるのではないかと思います。授業を見学しますと、どのクラスも雰囲気の良いので、引き続き児童が自分を表現できるような授業づくりをよろしく願います。 ○授業を見る限り、手を挙げる児童は4割程度。(学年によっては、また、授業によっては、多かったり少なかったりしていた。) ○国語科が学力アップしたことは、先生達の指導方法と子ども達の努力の成果。今後も継続して願います。 ○とてもよく努力されています。	◇学習の中での交流活動を充実させるとともに「歓迎集会」「6年生を送る会」などの学校行事や「委員会」「クラブ活動」など特別活動、校外学習などの中で交流の場面や表現活動を仕組み、発表の場を増やしていく。  ◇お互いの良さを認め合い、学び合っていく雰囲気(環境)づくりに努める。
		<b>【わかる授業づくり(個に応じた指導)】</b> 算数の学期末テスト85点以上達成率 (低学年90%、中学年85%、高学年80%以上)  <b>〈結果〉2月時点での年間平均達成率</b> 低学年98%、中学年91%、高学年89% ・算数科において重点単元を選定し、指導方法工夫改善教員を中心として、全学年で習熟度別分割指導を行った。 ・重点単元の結果85点未満の児童に対しては、補充を行うなど学力の確実な定着を図る取組を行った。 ⇒12月に実施された学力検査では、全国を上回る学年が多かった。	2.8	○個人差を縮めるための指導方法など、個々に応じた指導にとても苦労してあると思います。特に算数科では、スモールステップで少しずつでも理解できるようになると自信につながっていくので、きめ細かい指導でこれからも学力アップにつなげていって欲しいです。 ○指導方法工夫改善教員による指導の工夫をされ、確実に学力Upに繋がっていることがわかります。先生方の負担が多くなっていないか心配ですが、全国・他校ともに、平均を上回る結果は非常に嬉しいです。6年生は、中学校への意識が上がっているのか学力アップが素晴らしいです。 ○細かで丁寧な指導が行われていると思います。学力検査の結果は、その賜物だと思います。 ○先生方の習熟度別分割指導の成果だと思います。3年生が全国平均を下回っているのが少し気になります。 ○とても良く頑張られています。	◇今後も国語科を中心に、「問いづくり」「思考づくり」「価値づくり」を位置付けた授業改善を進め、教員の意識と指導力を高めていく。  ◇算数科において、全学年各学期に重点単元を設定し、習熟度別指導や少人数指導に取り組み、個に応じた学習指導方法の工夫改善を継続して行う。

		<p><b>【読書活動の推進】</b> 低：60冊、中：50冊、高：40冊</p> <p><b>〈結果〉「本を読んでいる」:3.4</b> ・図書委員会による秋の読書祭りのイベントを通して、図書室から足が遠のいていた児童も本をたくさん読むことができていた。 ⇒2学期終了時点での各学年の貸し出し状況平均は目標を達成しており、全校での貸し出し状況平均は45.1冊であった。</p>	3.2	<p>○本を好きになる子が増えてすばらしいです。委員会活動や子ども達が活躍する中で、更に読書の楽しみ方を知る子が増えると、もっともっと心も育ってくれると思います。</p> <p>○今パソコンなどでも本を読むことが出来るので、図書室で本を借りて読んだり、好きな本を探したりすることが少なくなっているのでは？と心配しています。イベントなどで、たくさん読む機会を増やせるといいですね。</p> <p>○イベントや廊下にある本棚など、本を身近に感じる工夫がなされており、結果が出ていることもすばらしいと思いました。</p> <p>○図書室の様々な取組で、子ども達が本に興味を持ち、読書活動の推進につながっています。今後も大変ですが、よろしくお願いします。</p> <p>○読む習慣づけを今後もよろしくお願いします。</p>	<p>◇子ども達が本を身近に感じられるような環境づくりに努め、主体的に取り組めるようなイベントを子どもとともに考え、本に興味を持ってもらえるような工夫をする。</p> <p>◇家庭への啓発「うちどく」等を通して家庭との連携を図り、週末読書を推進する。</p>
		<p><b>【家庭学習の習慣化】</b> 家庭学習：(10分×学年+10分)以上</p> <p><b>〈結果〉「毎日、宿題や自学をしている」:3.6</b> ・各学級での指導の徹底とともに、学年通信等を通して保護者に対して家庭学習の啓発を行った。 ・土曜未来塾は、昨年度11名だったが、本年度18名。 ⇒家庭学習時間達成率は12月時点で82%、土日の家庭学習時間ゼロは17.6%であった。</p>	3.0	<p>○宿題プリントを作成されたり、毎日の点検の中で子どものつまずきに早く気づいたり、学力の定着に大いに役立っています。小さなことの積み重ねがとても大事ですね。</p> <p>○年度初めに家庭学習時間のプリントを配布されていますが、どうしても宿題が終わると、それ以上の学習時間を自発的にすることが難しいと個人的に感じています。土曜未来塾、習い事(学習塾)に行っていないところには、もっとおすすめてほしいと思います。未来塾に行ったら良かったことなど、子ども達の感想などを入れたチラシを作成してみてもいいですか？また一斉メールを定期的にしてはどうでしょうか？</p> <p>○保護者の啓発は、とても大切なことだと思います。</p> <p>○保護者のアンケート結果から見ると、4割近くがあまり当てはまらない、当てはまらないとなっている。</p> <p>○よく頑張っていると思います。</p>	<p>◇土日の宿題の内容・量の工夫を図るとともに、カスタによる家庭学習等に取り組ませることで、子ども達の意欲向上を図る。</p> <p>◇高学年については、土曜未来塾への参加を奨励し、教育委員会とも連携しながら、保護者への案内を行っていく。</p>
		<p><b>総合所見</b> ○ これまで学校全体で組織的に取り組んできた実践の成果が見られるので、重点目標である「進んで学び、考える子ども」の育成を目指して、子どもの主体性や表現力を高めるための授業づくりや活動の場づくりに取り組み、本校教育活動の充実を図る。</p>			
領域	項目	評価指標・自己評価	教師	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
美しい心を持つ子どもの育成	思いやりのある子ども	<p><b>【良好な人間関係づくり(不登校防止)】</b> 友だちと仲良くし、学校生活を楽しむ</p>	3.0	<p>○子どもとの対話や関わりを大事にし、一人一人の様子をよく見られているから、いろんなトラブルがあっても早期に対応できているんですね。家庭状況の違いから、なかなか保護者との連携も難しいと思います。兄弟関係など中学校などとの連携を図りながらの指導が大切ですね。</p> <p>○あまり目立った事案はないので気づきませんが、アンケートや保護者からの声で対応、解決へとなっていることを聞き安心しました。いじめは他者から見たらいたしたことでなくても、本人にはとても傷ついていることがわかりづらいので、発信してくれている早期に周りの対応が出来ていると思います。先生方の負担・気苦労が多いかと思いますが、引き続きよろしくお願いします。</p> <p>○スマホ関連の問題は、学校や先生方の目が届かない所だと思います。先日の学校運営協議会でも、この話が難しい問題であることを痛感しました。保護者も一緒に真剣に考えないといけない問題であると感じました。大変だとは思いますが、これからも息の長い丁寧な指導をどうぞよろしくお願いします。</p>	<p>◇子ども達が「楽しい！来たい！」と思える学校づくりを目指す。</p> <p>◇子どもとの対話や関わりを大事にし、日頃から児童一人一人の様子を丁寧に見取り、問題(いじめ・不登校等)の早期発見・早期対応に努める。</p> <p>◇中学校への引き継ぎを確実にを行い、新たな不登校を生まない取組を中学校と連携して取り組む。</p>
		<p><b>〈結果〉「友達と仲良く」3.7 「学校が楽しい」:3.6</b> ・「福岡アクション3」に基づき「マンツーマン方式」による対応を通して、不登校児童の早期発見・早期対応に努める。 ・欠席する児童が0になることはなかったが、昨年度に比べ、少なくなっている。 ⇒不登校1名、長期欠席2名、いじめ3件。(昨年度：不登校1名、不登校兆候1名、長期欠席7名) ・いじめの発覚：アンケート・保護者・担任</p>			

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校やいじめの問題が社会問題となっているが、本校のきめ細かな対応や取組が行き届いている。</li> <li>○不登校やいじめの事案については、中学校へ引き継ぎをお願いします。</li> <li>○全ての項目において、アンテナを高く取り組まれていると思います。</li> </ul>	
	<p><b>【規範意識の育成】</b> ルールを守って、学校生活を送る</p> <p>〈結果〉「ルールを守って学校生活を送る」: 3. 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校（嘉穂小）のきまり」を各教室に提示し、校内放送等で日常的な意識化を図った。</li> <li>・全職員で共通認識を図り、統一した指導を行っている。</li> </ul> <p>⇒大きなトラブルや生活指導は少なく、きまりを守って生活しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規範意識が育つことで、みんなが楽しい学校になるということをしっかり身に付けて欲しいですね。</li> <li>○全員認識していることがルールを守り、学校生活を送ることにつながるので、学校雰囲気も良くなっていると思います。</li> <li>2. 9 ○大きなトラブルや生活指導は少ないとのことですが、教師の評価が2. 9と低めなのは？嘉穂小の児童は、もっと出来る！という期待の表れでしょうか。</li> <li>○先生方の共通認識のもとで、統一した指導の結果が、子ども達に行き渡っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇今後も全職員で共通認識を図り、統一した指導を行っていくとともに、家庭とも連携した取組を進める。</li> <li>◇嘉穂中学校・牛隈小学校と連携し、中学校区として9ヶ年を見通した「学校のきまり」を協議・実施していく。</li> </ul>
	<p><b>【言語環境づくり】</b> 丁寧な言葉遣い、やさしい言葉かけができる</p> <p>〈結果〉「ふわふわ言葉を使っている」: 3. 4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画委員会と生活委員会が合同で計画し、ホールにある「ふわふわ横丁」で、「言い換えの言葉」や「あいさつスタンプラリー」、「ふわふわの木」「ふわふわことば迷路」など、言葉遣いやあいさつについて考えることができる様々なコーナーを作り、「心ふわふわ大作戦」に全校で取り組んだ。</li> </ul> <p>⇒言葉によるトラブルが少なくなっているものの、依然として、人を傷つける言葉を使ってしまう児童も見られる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語環境を整えることは、大人も保護者もみんなで取り組めるといいですね。</li> <li>○「ふわふわだより」は、保護者が見ているかと思いますが、子ども達がそれをじっくり読んでいるか？と忘れてしまいます。ですが、「ふわふわ横丁」というイベントによって、子ども達が意識的に、ふわふわ言葉を使い、意欲的に挨拶をすることで、自然と身についてくるのではと感じました。これからもつづけて欲しいですね。</li> <li>3. 0 ○以前より嘉穂小は、ふわふわ言葉の指導は行われていて、児童も優しい性格の子が多いので、問題は少ないようです。子どもながらの突発的に発してしまう悪い言葉はあると思いますが、日頃の取組などを通じて、自分を振り返ってみたり、反省したりする時間を大切にして欲しいと思いました。</li> <li>○大変すばらしい取組です。友達とのコミュニケーションを築く一歩だと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇丁寧な言葉遣いや優しい言葉があふれる言語環境づくりに子ども達と共に取り組んでいく。</li> <li>◇教員がお手本となるよう心がけていくとともに、家庭での言語環境も整えてもらうよう、保護者への啓発を行う。</li> </ul>
	<p><b>【挨拶の励行】</b> すすんで地域の人や友達などに挨拶をする</p> <p>〈結果〉「自分から進んであいさつをしている」: 3. 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童による生活委員会の挨拶運動取組後、給食時間にあいさつ名人を紹介するなどの賞賛活動を行っている。</li> </ul> <p>⇒進んで挨拶ができる児童が増えているが、個人差が見られ、自分から挨拶ができていない児童もいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内では、よく子ども達が挨拶をしていると思います。なかなか地域に帰るとそれが難しいようです。地域の人との関わりが減っているからでしょうか？知り合うことの大切さを感じます。</li> <li>○毎日、通学時に見守りで立っていらっしゃる地域の方への挨拶を始め、学校に訪問される方などへ自然と挨拶が出来る児童、そうでない児童と、まだ個人差が見られると感じています。めざせ“あいさつ名人”！こちらからも挨拶すると返してくれる児童はたくさんいますよ。</li> <li>3. 0 ○学校運営協議会の時にも話しましたが、保護者の姿を児童は見えています。親が挨拶する姿を見せることも大切だと思います。</li> <li>○挨拶することが恥ずかしい児童もいると思います。雰囲気作りも大切ですね。賞賛活動とともに、挨拶を交わしたときの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇子ども達による挨拶運動や取組後の賞賛活動を継続し、子ども達の主体性を高める取組を行っていく。</li> <li>◇校内だけでなく、地域の人にも挨拶が進んで出来るよう、地域との関わりを増やしていく活動を工夫する。</li> </ul>

				清々しきや喜び、挨拶の大切さを考えたり、話をしたりする機会を作ることも良いかなと思います。 ○朝、スクールバスの見送りをしていますが、徐々にあいさつができるようになりました。学校訪問したとき、子ども達が挨拶をしてくれました。	
		総合所見 ○ 日頃から児童一人一人の様子を丁寧に見取り、保護者・地域・関係機関とも連携しながら、きめ細かく取り組みを進めていく。また、嘉穂中学校・牛隈小学校と連携し、中学校区としての9ヶ年の取組を協議・実施していく。			
領域	項目	評価指標・自己評価	教師	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
活力ある子どもの育成	たくましい子ども	【鍛ほめの取組】 非認知能力（やり抜く力）の向上	2.9	○学習カードの活用などで自分の記録を伸ばしていくことは、成果が視覚的でわかりやすいので、自信や励みになり、いいと思います。更に続けて欲しいです。 ○コロナがあり、体育の授業内容の変化、外遊びの減少がさらに進んだのかと思います。なわとびなどは、技を習得したり記録を更新したり自分との戦いとなり、向上心が高まるかと思っています。続けて欲しいですね。 ○2.9ということは、少し物足りないと感じておられるのでしょうか。最後までやり遂げることは、これからの人生でもとても大切なことなので、先生方がそう思って指導されていることは、とても心強く感じました。 ○すばらしい取組です。社会に出て、必ず役立つはずです。 ○取組の結果に対する賞賛の場(例えば、表彰制度など)があるともっとよくなるのでは。	◇子ども達が「自分の目標の実現に向けて、粘り強く取り組む」ことができるよう、意図的・計画的な称賛の場を設け、意識の向上を図る。  ◇全校で表彰するなどの機会を計画的に設ける。
		〈結果〉「どんなことでもあきらめずに最後までやり遂げる」:3.4 ・体力テスト、なわとび、持久走(体育委員会提案)等で学習カードを活用し目標の実現に向けて向上心を高めながら取り組ませた。 ⇒これまでの記録等を参考に目標を設定し、お互いに励まし合ったり賞賛し合ったりして、目標を達成できるようにしている。			
		【体力の向上】 定期的なコーディネーショントレーニングの実施 体力アップシート：年間100日以上運動する	2.7	○外部講師の方を招いてのコーディネーショントレーニングなどは、とても良い体験だと思います。もっと外遊びしてほしいです。 ○家に帰るとゲームなどで遊んでいる児童が多いようです。学校では、出来る限り外遊びを推奨して欲しいと思います。 ○コーディネーショントレーニングの成果を発表できる日を楽しみにしています。	◇体力テストの結果から、学校としての課題を分析し、子ども達とアイデアを出し合いながら、全校での取組を工夫していく。  ◇にこにこの日や体育科学習の準備運動にコーディネーショントレーニングを継続して取り組む。
		〈結果〉「外で元気よく遊ぶ」:3.3 ・体育の準備運動にコーディネーショントレーニングを取り入れたり、毎月25日の「にこにこの日」にも全校一斉にトレーニングタイムを設定したりした。 ⇒2/20に荒木先生が来校。1年生から5年生を対象としたコーディネーショントレーニングが行われる。			
		【基本的生活習慣の定着】 「早寝・早起き・少メディア・挨拶」の定着	2.9	○SNSに関するトラブルは、家庭での責任が大きいと思いますが、研修会の開催や保護者への啓発の継続が必要だと思います。 ○意識付けするには、家庭と一緒にして行った方が良いと思います。 ○SNSに関するトラブルは、身近なところで起こっている。もっと危機感を持って家庭内でのルール作りを学校からも発信してください。 ○特に保護者との連携が必要な項目だと思います。 ○メディアとの関わりは、避けることは出来ないと思います。メディアとどうつきあうか、学校と保護者が連携して取り組んでいただきたい。 ○保護者の責任をもっと啓発していくべきでは。	◇PTA育成委員会と連携して、今後も「早寝・早起き・少メディア・挨拶」の取組を推進していく。  ◇PTA総務委員会と連携し、メディアに関する研修を進めていくとともに、懇談会等で保護者への啓発を行っていく。
	〈結果〉「早寝・早起き」:3.0 「朝ごはん」:3.6 ・2,3学期の始めに、保護者と連携して「早寝・早起き・少メディア・あいさつ」の取組を実施した。 ⇒SNSに関するトラブルがあり、関係機関や保護者と連携し、メディアとの関わり方についての取組を進めている。				

		<p><b>【清掃活動】「人のために黙って清掃」の定着</b></p> <p>〈結果〉「黙って自分から進んでそうじをしている」: 3. 2          ・学年トイレ掃除の取組では、6年生がリーダーとなり下級生に掃除の仕方を教えた。          ⇒教師とともに進んで掃除をする姿が見られた。</p>	2.7	<p>○楽しく効果的に掃除できると、掃除を好きになる子も増えるかもしれません。掃除の仕方を見直してみるのもいいかもしれません。</p> <p>○意外と個人差が出る項目のような気がします。みんなの学校をみんなでできちんと掃除する意識を持つよう、引き続き指導をよろしくお願いします。</p> <p>○人の姿を見て自分を磨く。そうやって成長し、学んでいくんでしょうね。</p> <p>○よく頑張られていると思います。</p>	<p>◇教師と一緒にする、縦割りでする等の場を工夫して清掃活動に取り組ませ、清掃の良さや心地よい環境の大切さに気づかせていく。</p> <p>◇清掃活動に主体的に取り組むことができるように、振り返り活動を継続していく。</p>	
		<p><b>【給食活動】「マナーに気をつけて食事」の定着</b></p> <p>〈結果〉「マナーに気をつけて食事をしている」: 3. 6          ・毎学期、食事のマナーを振り返る「ここに元気いっぱいカード」を活用し、食に関する目標の取組を進めた。          ⇒碓井義務教育学校から栄養教諭に来ていただき、児童への声かけや支援を行ってもらった。また、月1回は食物アレルギー児童（6名）の対応について共通理解を図っている。</p>	2.9	<p>○食育の大切さを試食会等の機会に保護者にも啓発できたらいいですね。</p> <p>○いろんな工夫をして給食のメニューを考えてもらって、とても幸せだと思います。マナーは大人になってから恥ずかしかったりと気づいたときは遅かったりするので、学校給食の今、皆で取り組むことは、良いことですね。</p> <p>○嘉徳小の給食はとてもおいしいので、食べることに集中してマナーを忘れがちになってしまうかもしれませんね。マナーには意味があると思うので、どうしてこういうマナーがあるのかということを考える機会もあっていいのかなと思います。</p> <p>○子ども達の心と体力の基本は食育と言われています。</p>	<p>◇給食を楽しく、そして安全に実施できるよう、養護教員を中心に栄養教諭とも連携し、今後も指導の工夫を図る。</p> <p>◇マナーの向上を目指し、毎月設定されている給食時間の目標達成に向けた取組を継続するとともに、保護者への啓発も行き、家庭との連携を図る。</p>	
	<p><b>総合所見</b> ○ SNS等メディアの長時間化が本校の課題となっている。子どもたちの心と体の健やかな成長のため、家庭との連携を強めながら協働で基本的生活習慣の定着を目指して取組を進めていく。さらに、PTAと連携し、メディアに関する研修を子どもと保護者で行っていく。</p>					
	領域	項目	評価指標・自己評価	教師	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
郷土愛		<p><b>【地域に愛着をもつ児童の育成】</b>          自分がすんでいる「かほ」がすき</p>				
	ふるさとを愛する子ども	<p>〈結果〉「自分の住んでいる「かほ」のことが好き」: 3. 7          ・学校と地域(保護者・地域住民等)が目標を共有し一体となって地域の子も達を育てていくコミュニティ・スクールを進める。          ⇒全学年で地域の「ひと・もの・こと」を取り入れた学習活動(ふるさと学習)を実践することができた。</p>	2.7	<p>○ふるさと学習の取組、大変良いことです。自分の育った町のことを大いに知って好きになって欲しいですね。</p> <p>○コミュニティ・スクール、もっと地域を巻き込み、授業やイベントを取り入れてみたらいいと思います。地域の人は待っています。私もどういうタイミングで動いたらいいかわかりません。一緒にやりましょう。地元を知る、体感する、もっとコミュニティを活用したいですね。</p> <p>○ふるさと学習に協力してくださる地域の方には、本当に感謝したいです。人材は探すと思いますので、先生方も遠慮なく声をかけてみてください。</p> <p>○学校でのふるさと学習の取組は、成果を上げていると思います。地域でも頑張らなければと思います。</p>	<p>◇地域の「ひと・もの・こと」を見直し、新たな人材を発掘していく。</p> <p>◇学校と地域(保護者・地域住民等)が目標を共有し、一体となって地域の子も達を育てていく「地域とともにある学校づくり」を進める。</p>	
	<p><b>総合所見</b> ○ 嘉麻市共通地域教材を活用し、地域の「ひと・もの・こと」を計画的に取り入れ、大人と子どもが関わり合いながら、地域コミュニティの核となり、共に成長できる教育に努める。</p>					